

## 1. 課題

人口が都市に集中することによって生じる環境問題のうち、あなたが最も解決の必要性を感じるものを挙げなさい。また、その問題に対して、どのような有効な解決策が考えられるか、あなたの考えを 300 字以上 400 字以内の文章でかきなさい。

(2023 年長崎大学 環境科学部 後期 問題を改題)

※本授業の残りの時間とゴールデンウィーク休みを利用して、

休み最終日 5/6(月)の 23:59 までに、Teams「個人課題研究」チャンネルの Forms に文章を入力して下さい。

## 2. 参考資料その 1：意見をかくための「視点」の例（ヒント）

Q1. そもそも、ここでいう「環境問題」にはいかなる具体例が当てはまるのか。

Q2. あなたが注目した環境問題の「根本原因」は何か。

Q3. 生じた環境問題に対して、誰がどんなアクションを起こせるか。また、そのアクションにはどんな「良い面」と「問題点」があるか。

### Example 1

① Who? : 科学者, 研究機関, 支援をする国や企業

② What action? : 【科学】 汚染を防ぐ科学的なケア 【経済】 利益誘導による環境保護運動  
【隔離】 生物保護や環境への立ち入り制限

③ 良い面/問題点 : ものによっては即効性が高い? / 開発時間がかかる? 経費がかかる?

### Example 2

① Who? : 国や地方公共団体・国際機関

② What action? : 【法律】 経済活動を制限する 【法律】 環境破壊に罰則を設ける  
【条例】 地域に合わせたルール作り

③ 良い面/問題点 : 拡散しやすい? 経費がかからない? / 政治に左右される? 実効性に問題あり?

### Example 3

① Who? : 家庭・学校・企業・行政(国・自治体)

② What action? : 【教育】 環境資源の価値について学ぶ 【教育】 環境保護への自主性を養う  
【教育】 継続的な、将来を見越した対策方法を学ぶ

③ 良い面/問題点 : 継続性が高い? 個人へ確実に届く? / 即効性が低い? 個人間に格差あり?

Q4. あなたが大学で学びたい学問分野からなら、その環境問題にどんなアプローチができるか。

### 3. 意見文をかくための構想メモ or 文献調査メモ

#### 4. 参考資料その2：小林光ほか編著「ザ・環境学」より（引用・一部改変）

※こちらの文章は、実際に「2023年 長崎大学 環境科学部 後期 問題」で引用されたものです。

## 1. 前回の課題

人口が都市に集中することによって生じる環境問題のうち、あなたが最も解決の必要性を感じるものを挙げなさい。また、その問題に対して、どのような有効な解決策が考えられるか、あなたの考えを 300 字以上 400 字以内の文章でかきなさい。

(2023 年長崎大学 環境科学部 後期 問題を改題)

## 2. 今回の課題

上の課題に対するあなたの「意見文」を書き直しなさい。ただし、その際は、次の項目を満たすように、600 字以上 700 字以内の文章で書きなさい。

### 【意見文の満たすべき条件】

(必須条件) ※必ず満たしていなければならない条件。

- ① 解決したい「問題」の何が問題なのか、より具体的に述べられている。  
(「課題感」の共感が得られる。)
- ② あなたが提案する「解決策」の有効性が、説得力を持っている。
- ③ 提案する解決策を実行する上でぶつかると想像される不都合、または、実行できたとして新たに発生すると想像される課題が述べられている。
- ④ 上の「不都合」と「課題」を解決できる、または軽減できる手段が述べられている。

(任意条件) ※満たしていると尚よい条件。

- ⑤ あなたが提案する「解決策」と同様なものが、実際に実践されている「都市」の事例が挙げられている。
- ⑥ その事例の「うまくいっている部分」と「そうでない部分」が整理されて述べられており、結果的にあなたの解決策の有効性が”応援”されている。

※本授業の残りの時間、5/31(金)総合の時間を利用して、

翌月曜、6/3(月)の 23:59 までに Teams「個人課題研究」チャンネルの Forms に文章を入力  
して下さい。

※6/21(金)に HR クラスを越えたディスカッションを実施します。その際に、皆さんの加筆・修正した意見文を持参することになります。

## 2. 意見文の加筆・修正するための「構想メモ」

① 解決したい「問題」の何が問題なのか

② あなたが提案する「解決策」の有効性

③ 提案する解決策を実行する上でぶつかりと想像される不都合、または、実行できたとして新たに発生すると想像される課題

④ 上の「不都合」と「課題」を解決できる、または軽減できる手段

⑤ あなたが提案する「解決策」と同様なものが、実際に実践されている「都市」の事例

⑥ その事例の「うまくいっている部分」と「そうでない部分」